

- 自動車の登録・検査の法定手数料が変更されます..... 2
- 運輸支局等の検査窓口における紙の保安基準適合証及び
自動車損害賠償責任保険証明書の取扱いの廃止について
令和8年 春の全国交通安全運動..... 4
- J Uクレジットスプリングキャンペーン開催中
第13回オール J U 全国お客様大感謝祭開催中..... 5
- 商品中古自動車の自動車税(種別割)の減免申請取扱いについて..... 6
- 第45回 J A I A 輸入車試乗会..... 7
- 販売時、お客様への車両盗難対策を呼びかけましょう！..... 8
- 日本全国でクリーンキャンペーンを実施..... 10
- 2026年前期 中古自動車査定士技能検定試験の実施について..... 11
- 時論車論(日刊自動車新聞)..... 12
- 褒めて伸ばす(オリエント総合研究所)..... 14
- 提携損保からのお知らせ(損保ジャパン)..... 16
- ~月刊テントリ(展示車取引)通信~..... 18
- J U 東北 検査員技能コンテストを開催
第40回青年部大会・第48回経営者セミナーを開催..... 19
- J U 宮城 日本カーシェアリング協会へ車両5台を寄付
J U 岡山 青年部視察研修旅行を実施..... 20
- J U 札幌 札幌市に車椅子10台を寄贈
J U 兵庫 中古自動車販売士研修試験を開催
古物管理者講習会を開催..... 21
- 中古車購入検討者ログデータ(カーセンサー)..... 22
- 2月のオークション結果..... 24
- 1月の都道府県別中古車登録・届出台数..... 25
- 2月の新車・中古車登録台数..... 26



Auction Calendar

オークション日程は変更されることがありますので、事務局に連絡し、確認の上ご参加ください。

札幌	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	011-872-5181	富山	2(木)	9(木)	16(木)	23(木)	076-434-0040		
帯広	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	0155-37-2578	石川	1(水)	8(水)	15(水)	22(水)	076-276-9381		
釧路	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	0154-57-9111	福井	7(火)	14(火)	21(火)		0776-43-6163		
函館	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	0138-49-2000	滋賀	開催無し				077-585-4136		
室蘭	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	0143-43-7292	和歌山	開催無し				073-432-7133		
旭川	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	0166-87-4500	京都	開催無し				075-681-8287		
北見	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	0157-36-8115	奈良	4(土)	11(土)	18(土)	25(土)	0743-57-5678		
青森	8(水)	22(水)			0172-62-5515	大阪	開催無し				06-6943-8070		
岩手	14(火)				019-605-7231	兵庫	開催無し				079-448-2211		
秋田	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	018-839-6311	岡山	10(金)				086-281-3300		
宮城	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	022-345-1881	鳥取	14(火)				0857-21-6881		
山形	4(土)	18(土)			023-655-4611	島根	17(金)				0853-43-2255		
福島	2(木)	9(木)	16(木)	23(木)	30(木)	024-591-4821	広島	2(木)	9(木)	16(木)	23(木)	30(木)	0826-72-7611
栃木	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	028-648-1181	山口	7(火)	14(火)	21(火)		0835-32-0220		
新潟	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	025-362-6666	香川	開催無し				087-881-8831		
群馬	2(木)	9(木)	16(木)	23(木)	30(木)	027-350-1200	愛媛	開催無し				089-956-4060	
茨城	1(水)	8(水)	15(水)	22(水)	29(水)	0299-48-1833	徳島	開催無し				088-641-3399	
千葉	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	043-257-5257	高知	開催無し				088-866-8400		
埼玉	7(火)	14(火)	21(火)	28(火)	048-798-2111	福岡	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	092-944-1101		
東京	6(月)	13(月)	20(月)	27(月)	048-990-8611	佐賀	開催無し				0952-30-5625		
神奈川	2(木)	9(木)	16(木)	23(木)	30(木)	0465-37-3751	長崎	8(水)				0957-55-1133	
山梨	4(土)	11(土)	18(土)	25(土)	055-279-2552	大分	8(水)	22(水)			097-535-8555		
長野	7(火)	14(火)	21(火)	28(火)	0263-58-3700	熊本	1(水)	8(水)	15(水)	22(水)	096-279-2700		
静岡	7(火)	14(火)	21(火)	28(火)	054-263-6161	宮崎	2(木)	16(木)	23(木)		0985-82-3311		
愛知	2(木)	9(木)	16(木)	23(木)	30(木)	0567-55-2221	鹿児島	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	0995-62-0757	
岐阜	4(土)	11(土)	18(土)	25(土)	058-398-5102	沖縄	3(金)	10(金)	17(金)	24(金)	098-935-2525		
三重	7(火)	14(火)	21(火)	28(火)	059-234-8996								

自動車の登録・検査の法定手数料が 変更されます

令和8年4月1日(水)より、近年の人件費・物価の上昇に伴う施設・設備・機器の老朽化更新費及び自動車検査登録情報処理システムの維持費の増加等に対応するため、自動車の登録・検査の法定手数料が改定されました。

※ OSS申請と窓口申請で改定額が異なりますのでご注意ください。

1. 登録手数料

(円)

OSS申請		現行	令和8年4月以降
新車新規登録		500	700
中古車新規登録		700	750
変更登録		350	450
一時抹消登録		350	450
移転登録		500	600
輸出抹消仮登録		350	500

窓口申請			現行	令和8年4月以降
新車新規登録	完成検査終了証あり		900	1,300
	完成検査終了証なし		700	1,300
中古車新規登録			700	1,300
変更登録			350	500
一時抹消登録			350	500
移転登録			500	700
輸出抹消仮登録			350	500
輸出抹消仮登録証明書の返納(登録識別情報等通知書の交付)			350	500
輸出予定届出証明書			350	500
登録事項等証明書	現在証明		300	400
	詳細証明 (現在・保存)	1件あたり	1,000	1,200
		2枚を超える場合、1枚ごと	300	400
	一括証明		400	500

その他の手続きを含む改定後の手数料一覧はこちら →



2. 検査手数料

(円)

OSS申請			現行			令和8年4月以降		
			国/軽検協	機構	計	国/軽検協	機構	計
新規検査	完成検査 終了証	普通・小型(二輪以外)	1,300	400	1,700	1,700	400	2,100
		軽	1,300	400	1,700	1,700	400	2,100
		小型二輪	1,400	0	1,400	1,800	0	1,800
	保安基準 適合証	普通・小型(二輪以外)	1,300	400	1,700	1,600	400	2,000
		軽	1,300	400	1,700	1,600	400	2,000
		小型二輪	1,300	0	1,300	1,600	0	1,600
継続検査	保安基準 適合証	普通・小型(二輪以外)	1,200	400	1,600	1,450	400	1,850
		軽	1,200	400	1,600	1,450	400	1,850
		大型特殊	1,200	0	1,200	1,450	0	1,450
		小型二輪	1,200	0	1,200	1,500	0	1,500

窓口申請			現行			令和8年4月以降			
			国/軽検協	機構	計	国/軽検協	機構	計	
新規検査	完成検査 終了証	普通・小型(二輪以外)	1,500	400	1,900	2,000	400	2,400	
		軽	1,500	400	1,900	2,000	400	2,400	
		大型特殊	1,500	0	1,500	2,000	0	2,000	
		小型二輪	1,400	0	1,400	1,800	0	1,800	
	保安基準 適合証	普通・小型(二輪以外)	1,300	400	1,700	1,600	400	2,000	
		軽	1,300	400	1,700	1,600	400	2,000	
		大型特殊・小型二輪	1,300	0	1,300	1,600	0	1,600	
	持込検査	普通自動車	500	2,100	2,600	600	2,300	2,900	
		小型自動車(二輪以外)	500	2,000	2,500	600	2,200	2,800	
		軽	1,900	400	2,300	2,400	400	2,800	
		大型特殊	500	1,700	2,200	600	1,900	2,500	
		小型二輪	500	1,600	2,100	600	1,800	2,400	
	継続検査	保安基準 適合証	普通・小型(二輪以外)	1,400	400	1,800	1,700	400	2,100
			軽	1,400	400	1,800	1,700	400	2,100
大型特殊			1,400	0	1,400	1,700	0	1,700	
小型二輪			1,200	0	1,200	1,500	0	1,500	
持込検査		普通	500	1,800	2,300	600	2,000	2,600	
		小型(二輪以外)	500	1,700	2,200	600	1,900	2,500	
		軽	1,800	400	2,200	2,100	400	2,500	
		大型特殊	500	1,400	1,900	600	1,600	2,200	
		小型二輪	500	1,300	1,800	600	1,500	2,100	
		検査証返納証明書交付	350	0	350	450	0	450	
検査証再交付	350	0	350	450	0	450			
検査標章再交付	300	0	300	400	0	400			

運輸支局等の検査窓口における 紙の保安基準適合証及び 自動車損害賠償責任保険証明書の 取扱いの廃止について

国土交通省では「自動車の登録・検査手続のDX化」を進めておりますが、令和10年1月以降、運輸支局等の検査窓口における受付は「自動受付機」により行うこととし、紙の保安基準適合証及び自動車損害賠償責任保険証明書の取扱いの原則廃止を予定しています。

特に会員販売店の皆様で、現在、紙の自賠責保険証明書をご利用されている場合は、「e-JIBAI」又は「One-JIBAI」に切り替えるための準備を進めていただきますようお願いいたします。

令和8年 春の全国交通安全運動

**交通ルールを守って
交通事故ゼロへ!**

通学路・生活道路における
子どもを始めとする
歩行者の安全確保

「ながらスマホ」の根絶や
歩行者優先等の
安全運転意識の向上

自転車・
特定小型原動機付自転車の
交通ルールの理解・遵守の徹底

令和8年4月6日(月)～4月15日(水)まで
春の全国交通安全運動
4月10日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」です

内閣府

春の全国交通安全運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

期間は令和8年4月6日(月)から15日(水)までの10日間で、そのうち、交通事故死ゼロを目指す日として令和8年4月10日(金)が定められています。

【全国重点項目】

- (1) 通学路・生活道路における子どもを始めとする歩行者の安全確保
- (2) 「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先等の安全運転意識の向上
- (3) 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底

交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止を図りましょう。

JUクレジット スプリングキャンペーン 開催中

3月～4月の2ヵ月間、「JUクレジットスプリングキャンペーン」を実施中です。

取扱高500億円、取扱件数24,096件、

JUカード2.673枚を目標に掲げ推進します。

4月は令和8年度のスタートの月で、非常に重要な月となります。金融委員会の施策に加えて、各商組においても独自施策をご用意しておりますので、目標の達成に向けてJUショップの皆様のご協力をお願いします。

日本中古自動車販売商工組合連合会
(株)オリエントコーポレーション
(株)オリコオートリース



第13回オールJU全国お客様大感謝祭開催中

JUクレジット・スプリングキャンペーンに合わせ、3月・4月の2ヶ月間、PR企画を実施中です。

JU加盟店でご購入いただいたお客様へJUの取り組み(人の安心、店の安心)を知っていただき、JUの認知度向上、お客様との今後の継続的なお付き合いや紹介につなげていただくために、「第13回オールJU全国お客様大感謝祭」と題してキャンペーンを行っています。

全国のJU加盟店でおクルマを成約されたお客様に対してギフト券やクオカードが総勢3,000名様に当たるキャンペーンで、期間中におクルマを購入し、応募された方全員にチャンスがある企画となっています。当選者数などのキャンペーン詳細につきましては同封のチラシをご覧ください。

JUジャナイトでのWEB応募、チラシ裏面FAXでの応募に加えて、エクセルファイルでの一括応募も可能です。お客様の同意を得ることが大前提ですが、代理応募される際にご活用いただき、たくさんのご応募をしていただけたらと思います。エクセル応募の詳細につきましてはJUポータルに掲載しておりますのでご確認ください。

また、本キャンペーンの告知はJUジャナイトでも広報いたしますが、販売された際にオススメいただくのが一番の広報です。3月号に同封のチラシ、ポスター、卓上POPなどをご活用いただき、積極的なご案内をよろしく申し上げます。

合わせて今回のキャンペーンでも応募を促進いただいた会員販売店様向けの企画もご用意しております。応募数に応じてギフト券やクオカードを進呈する企画となっております。キャンペーンの積極的なご案内と応募促進をよろしく申し上げます。

応募期間 2026年
3月1日(日)～4月30日(木)

全国のJU加盟店で
お車を成約された方
全員が対象
となります

Orico

第13回 オールJU 全国お客様 大感謝祭

総勢3000名様にプレゼント!

チャンス
最大300名様に
JCBギフト券 100
30,000円分 名様
10,000円分 200
名様

さらに!
JCBギフト券
最大1万円分
Wチャンス!!
JUオリジナル
クオカード
2,000円分
2700名様

中古車の
価格表示が
支払総額
になりました!!

JUは安心な中古車選びをお手伝いします

中古自動車販売士ってどんな人? クルマ選びから契約まで教えてくれる コンサルタント的存在です	JU適正販売店認定制度って何? 一定基準を満たした 安心なお店を認定する仕組みです
--	---

JU中販連では販売員のスキルアップのため、JU中販連の実績を評価する研修や試験を受けて合格した販売員を「中古自動車販売士」として認定する制度を実施しており、中古車業界全体のレベルアップに取り組んでいます。

注目!!

※QRコードを読み込みやすい方法
JUジャナイト

こちらが自印!!!
JU適正販売店

JU 日本中古自動車販売商工組合連合会(JU中販連) <https://www.ju-janaito.com/>
協賛：株式会社オリエントコーポレーション

商品中古自動車の自動車税(種別割)の減免申請取扱いについて

◆減免額は年税額の12分の3です◆

中古自動車販売店の方が所有する商品中古自動車については、自動車税(種別割)の減免が受けられます。自動車税(種別割)の軽減措置を希望される方は、査定協会の支所で商品中古自動車の証明を受け、税務当局に減免申請をしてください。

1. 減免の対象となる自動車

商品中古自動車であることが一般財団法人日本自動車査定協会により証明された自動車です。

*商品中古自動車とは

中古自動車販売店が4月1日現在所有し、かつ展示し(ただし、修理等のために展示できないものは、この限りではありません)登録を受けている中古自動車を行います。

ただし、所有者、使用者の名義が同一であることが必要です。

(注)新規登録車(新車、中古車)及び軽自動車は対象外です。

2. 減免を受けられる販売店

自動車税(種別割)減免の条件

- (1) 減免対象自動車を含め申請者が所有している全車両に係る自動車税(種別割)を滞納していないこと。
なお、本年度分の自動車税(種別割)については納期限内に納付していること。
- (2) 地方税法又は国税犯則取締法上の違反行為等の処分から一定期間を経過していること。

3. 自動車税種別割の減免額

自動車税(種別割(年税分))の12分の3に相当する額です。ただし、抹消登録等による月割納税額を減免還付額が超えることはありません。

4. 減免申請手続

(1) 第1段階 商品中古自動車証明申請

申請先：一般財団法人日本自動車査定協会の支所

申請受付期間：4月1日から4月30日

必要書類：①商品中古自動車証明申請書

(用紙は支所にあります)

②古物商許可証の写し

③当該自動車の自動車検査証の写し

(注)証明手数料は申請車両1台毎に必要です。

(2) 第2段階 減免申請

申請先：税務当局(自動車税事務所等)

申請期限：自動車税種別割納付期限7日前

必要書類：①自動車税種別割減免申請書

②一般財団法人日本自動車査定協会が発行する「商品中古自動車証明書」

③古物商許可証の写し

④当該年度の自動車税種別割納税通知書の写し

⑤4月1日後、申請時までに対象自動車を売却した場合は、当該事実を証する書面

※必要書類の詳細については申請先にご確認ください。

地域によって受付期間や対象車両が異なる場合がありますので申請先へご確認ください

JU中販連はエコドライブ普及推進協議会のメンバーです。

エコドライブを心がけ地球温暖化に大きな影響を与えるCO2の排出量を減らしましょう!

- ふんわりアクセル「eスタート」
やさしい発進を心がけましょう。
- 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
車間距離は余裕を持って、
交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。
- 減速時は早めにアクセルをはなそう
エンジブレーキを積極的に使しましょう。



- エアコンの使用は適切に
- ムダなアイドリングはやめよう
- 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 不要な荷物はおろそう
- 走行の妨げとなる駐車はやめよう
- 自分の燃費を把握しよう

エコドライブ普及連絡会策定
(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

「第45回JAIA輸入車試乗会」

令和7年2月3日から5日までの3日間、日本自動車輸入組合(JAIA)主催第44回試乗会が大磯ロングビーチで開催され、15社が参加し合計63台(G:14台、CD:8台、EV:22台、HEV:12台、MHEV:1台、PHEV:6台)展示車2台含む)が用意されました。

参加ブランド

BMW、MINI、BYD、Cadillac、Chevrolet、Hyundai、RAND ROVER、Maserati、Mercedes-Benz、Mercedes-AMG、Mercedes-Maybach、Porsche、RENAULT、Alfa Romeo、FIAT、PEUGEOT、CITROËN、Jeep、Tesla、Volkswagen、Audi、Volvo、SCANIA



試乗車種 (原動機/車重)



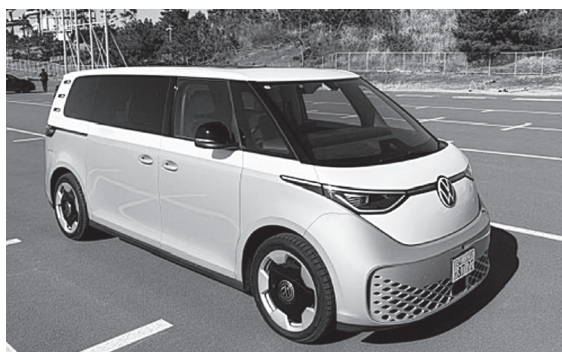
ヒョンデ・アイオニック5N(BEV/2,210kg)



アウディ・A5 TDIクワトロ(L4 1,968cc/1,980kg)



ヒョンデ・インスターラウンジ(BEV/1,400kg)



VW・iD.Buzz Proロングホイールベース(EV/2,730kg)



マセラティ・グレカレトロフェオ
(V6 2,992cc/2,305kg)



BYD・シーライオン6(PHEV 1,498cc/1,940kg)



BMW・220i グランクーペMスポーツ
(L3 1,498cc/1,490kg)

販売時、お客様へ車両盗難対策を呼びかけましょう！

自動車盗の認知件数は、官民連携による各種取組を実施した結果、ピーク時と比較して1割以下にまで減少していますが、令和4年以降は増加しており、また、近年の自動車盗難事件は、特定の車種を対象として窃取し、盗難自動車を一時的に駐車場等に保管し、その後、都道府県境をまたいで悪質な自動車解体ヤード等(自動車解体ヤード、その代替として利用されている倉庫、中古自動車販売店、自動車等保管場所、自動車修理工場等をいう。)に持ち込み、海外に不正に輸出している実態がうかがわれるなど、巧妙な手口で、組織的・広域的に敢行される例が多く見られます。

さらに、犯行グループは、その中核部分の構成等が外部からは見えず、メンバーを入れ替えながら犯行を繰り返しており、正に、匿名・流動型犯罪グループの特徴を有しています。

警察庁生活安全企画課の資料(令和8年3月付)によると、認知件数上位5県(愛知県、埼玉県、神奈川県、茨城県、千葉県)を中心に、車両盗難は依然として多発しています。

<犯行手口>

- CANインベーター等の特殊な機器により、自動車の電子制御ユニットに不正信号を送信するなどしてドアロックの解除、エンジンを始動させる。
- 窓の隙間から針金等を差し込む、ハンマー等で窓ガラスを破壊する、ピッキング工具を使用するなどして車内に侵入し、キープログラマー等の特殊な機器により、エンジンキーを複製する。
- リレーアタックと言われる手口により、玄関先等に保管しているスマートキーから発する微弱な電波を特殊な機器で中継してドアロックの解除、エンジンを始動させる。
- 車体にマグネット等で隠しているスペアキーを探し出す。
- 家に侵入し、車のキーを盗む。
- レッカー、けん引車で車を丸ごと盗む。
- 鍵を預かる施設で車の使用者になりすましてキーを受け取る。

<令和7年 盗難台数上位5車種(通称名)>

- 1位 ランドクルーザー
- 2位 プリウス
- 3位 アルファード
- 4位 ハイエース
- 5位 レクサスRX

メーカー	車名(通称名)	令和7年		令和6年	
		盗難台数	千台当たり	盗難台数	千台当たり
トヨタ	ランドクルーザー	1,177	3.5	1,064	3.4
トヨタ	プリウス	424	0.2	539	0.3
トヨタ	アルファード	303	0.4	488	0.7
トヨタ	ハイエース	209	0.2	170	0.2
トヨタ	レクサスRX	209	1.7	165	1.4
トヨタ	レクサスLX	195	19.7	230	23.3
トヨタ	クラウン	173	0.2	101	0.1
ダイハツ	ハイゼット	114	—	103	—
トヨタ	レクサスLS	108	1.4	76	1.0
スズキ	キャリイ	92	—	96	—

STOP! 自動車盗難 今、狙われている車はこれだ!

※CANインベーター等による被害が多発!!

ランドクルーザープラド(旧モデル)



【被害の多い型式】

TRJ150W(ガソリン)

GDJ150W(ディーゼル)

アルファード30系(旧モデル)



【被害の多い型式】

AYH30W(ハイブリッド)

GGH30W(ガソリン)

AGH30W(ガソリン)

※画像はトヨタ自動車株式会社の公式HPから引用しています。

- ☑ **メーカーによるセキュリティのアップグレード**
車両購入時無料のものや、後付け用品、アプリケーションを通じて導入するものがあります。詳しくはメーカーHPや最寄りの販売店にお尋ねください。
- ☑ **自動車に対する防犯対策**
警報装置のほか、ハンドルロックやホイールロック等の固定器具、GPS追跡装置等の盗難防止機器を活用しましょう。また、車種を特定させないために自動車用ボディアバーも有効です。
- ☑ **駐車場に関する防犯対策**
センサーライトや防犯カメラ、車止めポール等を設置しましょう。また、自宅以外の駐車場を利用する場合は、防犯設備が充実し、管理された駐車場を利用しましょう。



警察庁
National Police Agency

※「盗難台数」とは盗難等車両手配がなされた車名が明らかな車両であり、未遂等を含まないため、犯罪統計における自動車盗難認知件数とは異なる。なお、上記の一覧に、小型トラック・中型トラック・大型トラックは含まない。

※「千台あたり」とは、車名(通称名)別盗難台数を、保有車両台数(一般財団法人自動車検査登録協会統計「自動車保有車両台数(各年3月末現在)」)で除し、1,000を乗じた数である。(軽四乗用自動車等については、保有車両台数にかかるデータがないことから「-」としている。)

<盗難による被害>

- 不便になって仕事や日常生活に支障を来すことになります。
- 愛車がなくなり、ローンが残ってしまいます。
- 車両に残していたクレジットカード、運転免許証、携帯電話等は不正に使用されたり、他の犯罪に利用される可能性があります。
- 被害車両が発見されても、損傷が激しく、これまでのように使用できないことがあります。

<盗難防止対策>

<確実な施錠>

短時間でも車から離れる時は、窓を完全に閉め、ドアロックをしましょう。

<盗難防止装置の複合的な活用>

センサーが衝撃・振動・音等の異常を感知し警報音を発する警報装置、ハンドルロックやホイールロック等の固定器具、GPS追跡装置等の盗難防止装置を活用するとともに、防犯ステッカーの貼付やセンサーライト、防犯カメラの設置など、複数の対策を組み合わせた防犯対策を講じましょう。また、車種を特定させないために自動車用ボディカバーも有効です。

<鍵の適切な保管>

リレーアタックによる被害を防止するため、スマートキーは玄関先に置かず、電波を遮断できるケースに入れる等の対策をしましょう。

<自宅駐車場への対策及び防犯設備が充実した駐車場の利用>

自動車盗難は、自宅駐車場で最も多く発生していますので、自宅駐車場にセンサーライトや防犯カメラ、車止めポールなどを設置しましょう。また、自宅以外の駐車場を利用する場合は、見通しがよく、防犯カメラや照明等の防犯設備が充実し、管理された駐車場を利用しましょう。

<貴重品は車内に放置しない>

車内に現金、カード類やカバン等の貴重品を放置したままにすると車上ねらいの被害に遭う可能性が高くなります。車から離れる時は、短時間であってもドアロックをして、貴重品は必ず持ち出しましょう。

<自動車部品に対する盗難防止対策>

ナンバープレートやタイヤ、ホイール等の部品ねらいに注意が必要です。盗難防止ネジなどでしっかり固定するなどの対策をしましょう。



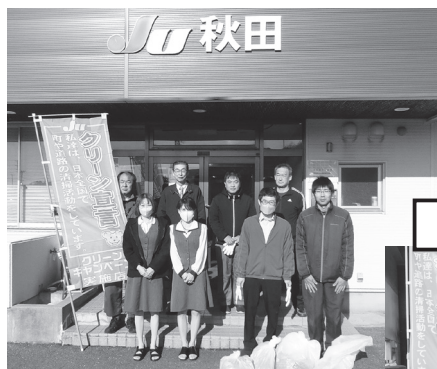
日本全国でクリーンキャンペーンを実施

JUでは地球の環境問題に取り組んでいることを消費者へアピールするために、JUショップのより一層の社会貢献度向上を目的として「日本全国11,000kmクリーンキャンペーン」を実施しています。今年度も日本全国でキャンペーンが展開されました。日頃お世話になっている地域社会や地球環境へ少しでも恩返しが出来たのではないのでしょうか。

今回はその活動の一部を写真でご紹介します。



JU帯広



JU秋田



JU福島



JU栃木

JU栃木



JU千葉





2026年前期

中古自動車査定士技能検定試験の実施について

「査定士」は時代の要請に応える有利な資格です。

中古自動車査定制度は経済産業省および国土交通省の指導のもと一般財団法人日本自動車査定協会が管理運営にあたっています。

「査定士」として活躍するためには一般財団法人日本自動車査定協会が実施する中古自動車査定士技能検定試験に合格し、協会に登録する必要があります。

●試験の実施日●

前期 小型車査定士試験 2026年6月14日(日)

大型車査定士試験 2026年6月18日(水)

●申請受付期間●

2026年4月1日(水)～4月30日(木)

●受付場所●

(一財)日本自動車査定協会各支所 または (一社)日本中古自動車販売協会連合会各県協会
 詳細は、(一財)日本自動車査定協会の各都道府県支所にお問い合わせ下さい。

日刊自動車新聞社

記者 村田 浩子

自動車業界で相次ぐ取適法違反。公取委も警告

自動車業界で中小受託取引適正化法(取適法、旧・下請代金支払遅延等防止法)の違反事例が増えている。製造業では下請け企業に対し金型の無償保管を強いるケースが散見されるほか、販売業では代車や事故車の無償搬送で勧告を受ける企業が多い。従来からの商慣行として違反の認識が無かった企業が大半だったが、公正取引委員会(公取委)は「自動車業界への監視を強化する」と警告しており、早急な意識改善が求められる。

下請法が改正され、今年1月から取適法が新たに施行された。取適法では、発注企業が協議に応じず一方的に代金を決定すること、手形払いなどが禁止行為として新たに盛り込むなど厳格化された。

近年、自動車業界では旧下請法の違反事例が相次いで発覚している。昨年だけで、三菱ふそうトラック・バス、トヨタ自動車東日本(TMEJ、石川洋之社長、宮城県大衡村)、東京ラヂエーター製造、中央発條、愛知機械工業(和田民世社長、名古屋市熱田区)、カヤバなどの自動車メーカー、サプライヤーが金型の無償保管を下請事業者に強いたとして勧告を受けた。勧告を受けた企業は社名や違反事例を公表され、減額分の返金や再発防止策の早期徹底を求められる。従わない場合は、罰則など重い行政処分が下される。

製造業だけでなく、販売市場でも違反行為が目立つ。昨年には、スズキ自販大分(屋代進也社長、大分市)と福岡ダイハツ(内山邦彦社長、福岡市博多区)が車体整備事業者に無償で代車を提供させていたとして勧告を受けた。また、今年2月には、日産東京販売(菊地文夫社長、東京都品川区)が、事故車などを車体整備事業者に無償で運搬させていたとして勧告を受けたばかりだ。

公取委と中小企業庁は昨年、全国のディーラーを対象に調査を実施し、ディーラー160社に対して、下請法違反被疑行為で指導を行った。調査対象は車体整備事業者との取引で、違反内容で最も多かったのは、「書面の不交付・記載不備」だ。修理委託を行う場合、取引条件を記載した発注書面等を交付する義務があるが、書面の不交付の事例が複数あったという。損保会社による査定で見積金額が確定しないことを理由に、発注時に代金の額を記載していなかった記載不備もあった。

また、ディーラーが損害保険会社との修理代金の交渉を車体整備事業者に任せた後、整備事業者が損保会社と協議してレーバーレート(1時間当たりの工賃単価)を引き下げるなど代金を変更したにもかかわらず、ディーラーが整備事業者と協議せずに、修理代金から自社分の利益を差し引くなどの「買ったたき」の事例も複数あった。

こういった事例はこれまで業界の商慣行として続いており、下請け企業側が発注の取りやめなどを危惧し、ディーラーに改善を要望できなかったものが多い。事態を重く見た公取委と中企庁が、日本自動車販売協会連合会(自販連)に違反行為の是正と未然防止を会員企業に促すよう要請するまでに至った。賃上げの原資を確保するには価格転嫁がマストとなる。市場の健全性を保つ上でも、発注側、受注側双方の適切料金での取引遵守が重要となる。

■イランへの軍事行動、中古車輸出業界で懸念広がる 最多のUAE向けが停止 海上輸送全体への影響も

中東情勢の緊迫を受けて、中古車輸出業界で懸念が広がっている。ホルムズ海峡の通過に支障が出たことで、中古車の最大の仕向け地であるアラブ首長国連邦(UAE)への輸送が困難になった。すでに同国向けの出荷も止まっているもよう。影響が長期化すれば、UAE以外の港でも船舶の動きが滞る可能性があり、今後の海上輸送の動向を業界関係者が注視している。

米国とイスラエルによるイランへの軍事行動を受け、輸出事業者らが情報収集を急いでいる。現在、ホルムズ海峡周辺では多数の船舶が待機している状況だという。ある事業者は「バーレーンやクウェートの港が閉鎖したという話もある」と明かす。

別の事業者は、UAEへの中古車の出荷を停止した。同国向けの売り上げが一時的に消失したことに加えて、保管料などの諸費用がかさむため業績への影響は小さくない。

航路は世界中でつながっているため、他の地域も無関係ではいられない。今後、ホルムズ海峡周辺の待機船が増えれば、新たな船舶は航路に入れなくなり、UAEなどに向かう船舶は一つ前の港で停泊せざるを得なくなる。停泊する隻数が増えれば、その港も船であふれかねない。中古車輸出に詳しい自動車流通市場研究所の中尾聡理事長は「事態が長期化すれば、世界中に混乱が広がる可能性もある」と見立てる。

耐久性の高さなど日本の中古車は中東やアフリカで人気で、UAEはその国々に車両を送り出す中継拠点となっている。日本中古車輸出業協同組合(JUMVEA、佐藤博理事長)によると、同国への2025年の輸出台数は前年比11.7%増の25万2,637台と、仕向け地別で2年連続の首位だった。

UAEは中継拠点のため、同国を経由しなくても最終的な仕向け地に中古車を直接送ることも可能だ。とはいえ、輸送網の構築などに時間を要するため、代替策での対応も容易ではないとみられる。佐藤理事長は「影響がどの程度広まるかはまったくわからない」と懸念を示す。
(日刊自動車新聞 2026年3月5日)

■ホンダ、2040年に100%EV・FCV化は「達成困難」 5月に新たなロードマップ公表

ホンダは3月12日、2040年にすべての新車販売を電気自動車(EV)と燃料電池車(FCV)とする目標について見直す方針を明らかにした。三部敏宏社長は「現実的には達成困難と考えている。現在、長期ロードマップも(計画を)引き直している」と話した。5月に開催する会見で具体的な方向性を説明する予定だ。

同日、オンライン会見を開いた。

ホンダは2026年3月期業績が最大6,900億円の最終赤字(25年3月期は8,358億円の黒字)となる見通しを発表。上場以来、初の赤字転落となる。北米でのEV需要鈍化を受け、米国で生産する一部のEVの開発および発売を中止する。これに伴う開発資産の除却や減損損失を計上するため、大幅赤字となる。

今期と27年3月期合わせて2兆5,000億円の損失を試算する。内訳は26年3月期が最大1兆3,000億円、27年3月期が最大1兆2,000億円。金型や専用設備など開発資産の除却や、サプライヤーへの補償などだ。

三部社長は「これまで米国での環境規制に向けて対応してきたが、(その分)投資額も大きかった。これに加え米国EV市場は冷え込み、当初想定の半分以下まで市場が縮小している。このまま進めると、さらに収益悪化を招くということで、今回の判断に至った」と説明。一部のEVの開発中止については「ホンダとして、もちろん車を世に出したかった。関わった従業員やサプライヤーなど多大な影響を及ぼしたのは重く受け止めている」とした。

対象モデルは、次世代EV「ゼロシリーズ」の「SUV」と「サルーン」、アキュラ「RSX」の3車種。インド生産で現地や国内で発売する「ゼロアルファ」は予定通り投入する計画だ。

電動化戦略を見直し、四輪事業の立て直しを図る。米国では20年代後半にかけて新たなハイブリッド車(HV)を投入するなど、HVのラインアップを拡充する。日本では、北米生産車を展開するほか、次期「ヴェゼル」に次世代ADAS(先進運転支援システム)を搭載して普及拡大を図る。日米の主力市場に加え、今後はインドも重点市場と位置づけ、モデルラインアップ強化などに取り組む。

ものづくり改革も進める。開発期間の短縮や生産効率化を加速するほか、サプライチェーンではレアアースなど調達リスクのある材料や部品を含め、安定した調達体制を整える。北米では次世代HVで現地調達率を高めていく考えだ。また、韓国の電池メーカーLGエナジーソリューションとの合弁会社では、米国のEV用電池生産ラインをHV用に転換することを検討している。
(日刊自動車新聞 2026年3月12日)

褒めて伸ばす

「褒めて伸ばす」。頭では分かっているけど、実践するのは難しいものです。「とりあえず『すごいね』と言ってみたら反応が薄い」「そもそも褒める成果がない」。そんな悩みを抱える上司に必要なのは、精神論ではなく、行動科学と心理学に基づいた「技術」としての褒め方です。まず、大前提を変えましょう。「褒める」とは、部下を単に喜ばせることではありません。「部下の行動に対し、『そのやり方で合っている』と赤ペンで丸をつける作業(正解の通知)」です。この「正解通知」には、実は3つのレイヤーがあります。それが「米国流」「日本流」、そして「心理学者ピアジェの視点」です。

米国流：「解像度」でスキルを定着させる

成果主義の本場、米国連邦人事局(OPM)は、パフォーマンス管理において「具体的かつ、区別可能なフィードバック」を強く推奨しています。彼らの考え方は非常にドライです。「よくやった(Good Job)」という曖昧な言葉は好みません。なぜなら、「何が良かったのか」が不明確なまま褒めても、部下はどの行動を繰り返せばいいのか分からないからです。「素晴らしい資料だ」ではなく、「3ページ目の競合比較グラフ、あの見せ方は非常に分かりやすかった」と伝える。ここまで解像度を上げて初めて、部下は「グラフ作成のスキル」を自分の武器として認識し、それを伸ばすことができます。これが、米国流の「スキルを伸ばす」技術です。



日本流：「プロセス」で心を整える

一方、日本の人事院や厚生労働省が重視するのは、メンタルヘルスや職場環境の観点からの「プロセスへの承認」です。ビジネスでは、どんなに努力しても結果が出ないことがあります。そんな時、結果のみを評価すれば部下の心は折れてしまいます。そこで日本流の出番です。「契約には至らなかったが、君の事前のリサーチ量は完璧だった。方向性は間違っていない」と、そこに至る汗や工夫を認める。そうすることで、部下の中に「上司は自分をちゃんと見てくれている」という心理的安全性(安心感)が生まれます。この土台があるからこそ、部下は萎縮せずに次の高い壁にも挑戦でき、結果として「主体性」が伸びていくのです。こうして見ると、「褒めて、伸ばす」には二つの側面があることが分かります。

米国流の「解像度」でスキルを定着させ、日本流の「共感」で信頼関係を構築する。最強の育成とは、この二つを使い分けるハイブリッドな戦略です。これを実践するのに、特別な予算も、気の利いたお世辞のボキャブラリーも必要ありません。必要なのは、部下が何をしているか、事実を正確に捉える「観察眼」だけです。

応用編：ピアジェ流の「階段作り」

日米の「褒めて、伸ばす」が出来たら、さらに上を目指しましょう！ スイスの心理学者ジャン・ピアジェは、子供の知能発達を研究し、「人は成長の段階によって、情報の受け取り方が劇的に変わる」ということを発見しました。これはそのまま、大人のビジネススキル習得にも当てはまります。

ピアジェの理論を少し噛み砕くと、人の認識には「目に見えるものしか理解できない段階」と、成長して「頭の中だけで抽象的な計算や予測ができる段階」があると言います。

これを職場に置き換えてみましょう。ベテランの上司であるあなたは、すでに仕事の全体像が頭に入っています。「Aというトラブルが起きたら、Bというリスクがあるから、Cの手を打とう」と、頭の中だけでシミュレーションができます。これが「抽象的な思考ができる段階」です。

一方で、経験の浅い部下は、まだそのレベルに達していません。彼らは「目の前の具体的なマニュアル」や「過去のハッキリした事例」がないと、どう動いていいかわからないのです。これ

が「目に見えるものが必要な段階」です。

ここで悲劇が起きます。「抽象的段階」にいる上司が、「具体的段階」にいる部下に、「もっとお客様の気持ちを想像して動け(抽象的な指示)」を出してしまうのです。部下からすれば、想像するための材料も経験もないのに「想像しろ」と言われているようなもの。「わかりました」とは言うものの、頭の中は真っ白です。

ここで必要なのが「褒めて伸ばす」技術と、発達段階に合わせた「足場かけ」です。

いきなり「想像しろ(抽象)」と投げるのではなく、想像しなくても動ける「具体的な足場」を提示します。「過去にこういうクレームがあったよね(具体例)」「まずはこのリストの通りにチェックしてみよう(具体物)」と、目に見える道具を渡すのです。

そして、部下がそれを使ってうまく対応できたら、すかさず褒めます。「そのチェックリストの使い方は完璧だね！ じゃあ次は、リストにないケースが来たらどうするか、一緒に考えてみようか」。

こうして初めて、部下は「具体的な作業」から「頭を使う応用」へと、安全にステップアップできるのです。この階段を一段ずつ作ってあげることこそが、マネジメントの要です。

スキルを定着させる米国の解像度、心を整え信頼を築く日本のプロセス承認、思考の足場を作るピアジェの理論。三つの技術を自在に操り、部下の成長段階に合わせた「褒めて伸ばす」を実践しましょう。

～月刊テントリ(展示車取引)通信～

JUテントリ 展示車取引

トラブル防止のためにご協力をお願いします。

【後日品】お取扱いにご注意ください

出品票記載の「後日品」未着が、増えております。
掲載時の再確認と、紛失の恐れもありますので、必ず書類と同封でお送りください。

新車保証書	後日品 保証書・取説・スペアキー
有・無	-----



【自動車税】年度またぎは、どうなる？

3月に売ったのに新年度の自動車税が・・・

3月成約車両の預かり自税は「落札店様より翌年度分を一旦お預り」ですが、通常の名変通知期限が4月末迄の為、落札店様が4月に名変をされますと、5月以降に出品店様側へ納付書が届いてしまう事があります。この場合、事務局が年税額相当を落札店様よりお預りしておりますので名変通知後に出品店様へ年額を精算致します。お手数お掛けしますが、納付書到着後に出品店様側で納付のお手続きをお願いいたします。



テントリご利用に関するお問合せは **JU コーポレーション** まで！
フリーダイヤル：0120-094-418 (月～土 9時～17時)

ガイダンス

- ①: 入会・利用方法、テントリ出品
- ②: テントリなど共有在庫の商談
- ③: 書類、名変、計算書
- ④: 継続中のクレーム

検査員技能コンテストを開催

JU東北(伊藤行雄会長)は10月25日に、第1回検査員技能コンテスト並びに検査員研修会をJU宮城会場で開催しました。

東北では初の開催となり、5商組から11名の検査員が参加しました。コンテスト終了後には表彰式を行い、上位3名にはトロフィーと記念品が贈られました。

また競技終了後には研修会を実施しました。活発な意見交換や情報共有を行い、有意義なコンテストとなりました。



東北検査員技能コンテスト集合写真

第40回青年部大会・第48回経営者セミナーを開催

10月27日に、第40回青年部大会並びに第48回経営者セミナーを江陽グランドホテルで開催しました。

今年の幹事県は宮城県で、東北各県から100名程が集まりました。各県の活動報告の後、「適正販売店について」と題して講演を行いました。続いて経営者セミナーが行われ株式会社山口達也代表取締役 山口達也氏を講師に迎え「ゼロからの再出発」と題して講演を行いました。実体験を基にした講演内容に出席者は興味



ゼロからの再出発

講師 株式会社山口達也代表取締役 山口達也

深く聞き入っていました。その後懇親会が行われ親睦を深めました。

伊藤会長より挨拶

日本カーシェアリング協会へ車両5台を寄付



JU宮城(伊藤行雄会長)は10月31日に、一般社団法人日本カーシェアリング協会(吉澤武彦代表理事)へ5台の中古軽自動車を寄贈しました。

今回の寄付は6回目で、寄贈した車両は災害被災者への無償貸出や被災地支援団体の活動用車両として利用されます。JU宮城では今後も地域の支援団体・行政と連携しながら「移動の支援体制」を強化していく方針です。

左から 伊藤会長、吉澤代表理事

青年部視察研修旅行を実施

JU岡山(中西信夫会長)は11月4日～5日に、東京都内で視察研修旅行を実施しました。

初日はビッグサイトで開催した、Japan Mobility Show 2025を視察しました。最新のモビリティ技術や未来のクルマ社会に触れ、業界の可能性を肌で感じる貴重な機会となりました。

2日目は靖国神社参拝からスタートし、東京スカイツリーの展望見学、浅草寺・仲見世通りの散策、築地場外市場での昼食と、東京の文化と歴史を体感する充実の行程でした。23名が参加し、それぞれの視点で学びと交流を深めた2日間でした。



Japan Mobility Showの様子

靖国神社での集合写真

JU札幌

札幌市に車椅子10台を寄贈

JU札幌(近藤 昇 会長・理事長)は11月7日に、社会貢献の一環として札幌市に対して車椅子10台を寄贈しました。

JU札幌による車椅子の寄贈は2010年から継続する取り組みで、今回で16回目となります。社会貢献活動としてチャリティで集めた募金などを北海道交通遺児の会や北海道 新聞社会福祉振興基金に寄付する活動を続けており、16回目の今回は市立札幌病院へ10台を寄贈しました。

オークション開始に先立ち、車椅子の贈呈式が行われ、JU札幌土井公捷筆頭副会長・筆頭副理事長(株)日新自動車販売)が、車椅子を使用する市立札幌病院の中村雅則副院長に対して目録を贈りました。これを受け中村副院長が、近藤会長に対して感謝状を贈呈しました。



車椅子贈呈式

JU兵庫

中古自動車販売士研修試験を開催



JU兵庫(森本義則会長)は11月5日に、神戸市にて中古自動車販売士研修試験を開催しました。

本研修には22名が参加し、車両品質評価研修、コンプライアンス研修を受け、筆記試験に臨みました。

研修の様子

古物管理者講習会を開催

11月13日に、神戸市にて古物管理者講習会を開催しました。

本研修では兵庫県警察本部生活安全保安課の警部補が約120名の参加者に対して、古物を扱う上での注意点等を説明しました。



講習会の様子

2026年2月 カスタマー 問い合わせランキング

Vol.221

Powered by
リクルート自動車総研

カーセンサーnetにおけるカスタマーの車種別問い合わせ状況を、ランキングデータとして紹介しています。カスタマー(中古車購入検討者)が、今、どんなクルマを求めているのかの参考にご活用ください。

■カーセンサー月間問い合わせランキング

毎月の物件問い合わせ数のランキングをボディタイプ別に紹介します。今回は2026年2月のデータです。

第1位は前月に続きホンダ N-BOX(初代)

総合ランキング					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	ホンダ	N-BOX(初代)	→1位	201112	201708
2位	ホンダ	N-BOX(2代目)	→2位	201709	202309
3位	トヨタ	ハイエースバン(現行型)	↑5位	200408	-
4位	トヨタ	アルファード(3代目)	↓3位	201501	202305
5位	トヨタ	プリウス(4代目)	↑6位	201512	202211
6位	トヨタ	アクア(初代)	↑7位	201112	202106
7位	日産	セレナ(5代目)	↓4位	201608	202211
8位	スズキ	ハスラー(現行型)	↑9位	201912	-
9位	トヨタ	ハリアー(現行型)	↓8位	202006	-
10位	ダイハツ	タント(2代目)	→10位	200712	201309

トップ2は前月と同じく、1位にホンダ N-BOX(初代)、2位にホンダ N-BOX(2代目)。3位は前月5位からトヨタ ハイエースバン(現行型)がランクアップ。

第1位は前月2位からトヨタ クラウンアスリート(4代目)がランクアップ

セダン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	クラウンアスリート(4代目)	↑2位	201212	201806
2位	トヨタ	クラウン(15代目)	↓1位	201806	202310
3位	レクサス	IS(現行型)	→3位	201305	-
4位	トヨタ	マークX(2代目)	→4位	200910	201912
5位	スバル	WRX(初代)	→5位	201408	202111

トップは前月2位からトヨタ クラウンアスリート(4代目)がランクアップ。2位は前月1位のトヨタ クラウン(15代目)。3位は前月と同じくレクサス IS(現行型)。

第1位は前月3位からトヨタ ハイエースバン(現行型)がランクアップ

ミニバン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	ハイエースバン(現行型)	↑3位	200408	-
2位	トヨタ	アルファード(3代目)	↓1位	201501	202305
3位	日産	セレナ(5代目)	↓2位	201608	202211
4位	ホンダ	フリード(2代目)	→4位	201609	202405
5位	三菱	デリカD:5(現行型)	↑7位	200701	-

トップは前月3位からトヨタ ハイエースバン(現行型)がランクアップ。2位は前月1位のトヨタ アルファード(3代目)、3位は前月2位の日産 セレナ(5代目)。

第1位は前月2位からスバル レヴォーグ(初代)がランクアップ

ステーションワゴン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	スバル	レヴォーグ(初代)	↑2位	201406	202009
2位	トヨタ	カローラツーリング(現行型)	↓1位	201909	-
3位	ホンダ	シャトル(初代)	↑4位	201505	202211
4位	スバル	レヴォーグ(現行型)	↓3位	202010	-
5位	トヨタ	プロボックスバン(現行型)	→5位	200207	-

トップは前月2位からスバル レヴォーグ(初代)がランクアップ。2位は前月1位のトヨタ カローラツーリング(現行型)。3位は前月4位からホンダ シャトル(初代)がランクアップ。

第1位は前月に続きトヨタ ハリアー(現行型)

クロカン/SUV					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	ハリアー(現行型)	→1位	202006	-
2位	ホンダ	ヴェゼル(現行型)	→2位	202104	-
3位	トヨタ	ヤリスクロス(現行型)	↑6位	202008	-
4位	トヨタ	ライズ(現行型)	↑5位	201911	-
5位	マツダ	CX-5(現行型)	↓4位	201612	-

トップ2は前月と同じく、1位にトヨタ ハリアー(現行型)、2位にホンダ ヴェゼル(現行型)。3位は前月6位からトヨタ ヤリスクロス(現行型)がランクアップ。

第1位は前月に続きトヨタ プリウス(4代目)

ハッチバック					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	プリウス(4代目)	→1位	201512	202211
2位	トヨタ	アクア(初代)	→2位	201112	202106
3位	トヨタ	プリウス(3代目)	↑4位	200905	201511
4位	日産	ノート(2代目)	↓3位	201209	202011
5位	トヨタ	ルーミー(現行型)	→5位	201611	-

トップ2は前月と同じく、1位にトヨタ プリウス(4代目)、2位にトヨタ アクア(初代)。3位は前月4位からトヨタ プリウス(3代目)がランクアップ。

第1位は前月に続きホンダ N-BOX(初代)

軽自動車					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	ホンダ	N-BOX(初代)	→1位	201112	201708
2位	ホンダ	N-BOX(2代目)	→2位	201709	202309
3位	スズキ	ハスラー(現行型)	→3位	201912	-
4位	ダイハツ	タント(2代目)	→4位	200712	201309
5位	ホンダ	N-BOX(現行型)	→5位	202310	-

トップ3は前月と同じく、1位にホンダ N-BOX(初代)、2位にホンダ N-BOX(2代目)、3位にスズキ ハスラー(現行型)となった。

第1位は前月に続きトヨタ 86(初代)

クーペ					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	86(初代)	→1位	201204	202110
2位	トヨタ	GR86(現行型)	→2位	202110	-
3位	ホンダ	CR-Z(絶版)	→3位	201002	201701
4位	マツダ	RX-8(絶版)	→4位	200304	201206
5位	スバル	BRZ(初代)	↑7位	201203	202106

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ 86(初代)、2位にトヨタ GR86(現行型)、3位にホンダ CR-Z(絶版)となった。

第1位は前月に続きマツダ ロードスター(現行型)

オープン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	マツダ	ロードスター(現行型)	→1位	201505	-
2位	マツダ	ロードスターRF(現行型)	→2位	201612	-
3位	マツダ	ロードスター(3代目)	→3位	200508	201504
4位	マツダ	ロードスター(初代)	↑6位	198909	199712
5位	ホンダ	S2000(絶版)	↓4位	199904	200906

トップ3は前月と同じく、1位にマツダ ロードスター(現行型)、2位にマツダ ロードスターRF(現行型)、3位にマツダ ロードスター(3代目)となった。

2026年2月オークション結果

会場	開催数	出品台数		成約台数		成約率 (%)	成約金額(千円)		平均単価(千円)
		合計台数(台)	1回平均	合計台数(台)	1回平均		金額合計	1回平均	
札幌	4	3,156	789	2,228	557	70.6%	1,159,138	289,785	520
帯広	4	389	97	188	47	48.3%	82,549	20,637	439
釧路	4	114	29	68	17	59.6%	51,063	12,766	751
函館	4	475	119	278	70	58.5%	174,374	43,594	627
室蘭	4	41	10	32	8	78.0%	19,504	4,876	610
旭川	4	162	41	119	30	73.5%	50,153	12,538	421
北見	4	176	44	142	36	80.7%	80,150	20,038	564
北海道	28	4,513	161	3,055	109	67.7%	1,616,931	57,748	529
青森	2	144	72	100	50	69.4%	22,429	11,215	224
岩手(※)	1	201	201	156	156	77.6%	69,264	69,264	444
秋田	4	617	154	523	131	84.8%	93,800	23,450	179
宮城	4	5,148	1,287	4,038	1,010	78.4%	1,578,181	394,545	391
山形	2	467	234	309	155	66.2%	91,595	45,798	296
福島	4	4,039	1,010	2,351	588	58.2%	1,014,484	253,621	432
東北	17	10,616	624	7,477	440	70.4%	2,869,753	168,809	384
栃木	4	2,732	683	1,020	255	37.3%	406,565	101,641	399
新潟	4	3,472	868	2,542	636	73.2%	803,184	200,796	316
群馬	4	3,716	929	2,132	533	57.4%	940,570	235,143	441
茨城	4	2,077	519	1,259	315	60.6%	572,576	143,144	455
千葉	4	4,478	1,120	2,996	749	66.9%	1,981,166	495,292	661
埼玉	4	7,110	1,778	4,471	1,118	62.9%	2,834,869	708,717	634
東京	4	5,374	1,344	2,940	735	54.7%	1,584,511	396,128	539
神奈川	4	2,521	630	1,721	430	68.3%	763,260	190,815	443
山梨	4	202	51	134	34	66.3%	29,864	7,466	223
長野	4	1,389	347	486	122	35.0%	157,851	39,463	325
関東甲信越	40	33,071	827	19,701	493	59.6%	10,074,416	251,860	511
静岡	4	2,812	703	1,863	466	66.3%	594,233	148,558	319
愛知	4	14,953	3,738	12,084	3,021	80.8%	6,721,829	1,680,457	556
岐阜	4	19,687	4,922	9,951	2,488	50.5%	7,047,630	1,761,908	708
三重	4	3,569	892	1,852	463	51.9%	868,396	217,099	469
富山	4	1,458	365	803	201	55.1%	285,255	71,314	355
石川	4	1,209	302	746	187	61.7%	323,941	80,985	434
福井	1	238	238	130	130	54.6%	26,491	26,491	204
中部	25	43,926	1,757	27,429	1,097	62.4%	15,867,775	634,711	579
滋賀	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
京都	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
奈良	4	1,118	280	757	189	67.7%	337,100	84,275	445
大阪	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
兵庫(※)	4	392	98	32	8	8.2%	40,802	10,201	1,275
近畿	4	1,118	280	757	189	67.7%	337,100	84,275	445
岡山(※)	1	601	601	352	352	58.6%	195,619	195,619	556
鳥取	1	100	100	92	92	92.0%	19,120	19,120	208
島根	2	475	238	396	198	83.4%	103,150	51,575	260
広島	4	2,695	674	1,514	379	56.2%	639,503	159,876	422
山口	4	727	182	237	59	32.6%	154,432	38,608	652
香川	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
愛媛	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
徳島	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
高知	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
中四国	12	4,598	383	2,591	216	56.4%	1,111,824	92,652	429
福岡	4	5,602	1,401	3,076	769	54.9%	967,624	241,906	315
佐賀	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
長崎	1	543	543	352	352	64.8%	59,171	59,171	168
大分	2	1,101	551	942	471	85.6%	148,494	74,247	158
熊本	3	909	303	614	205	67.5%	127,492	42,497	208
宮崎	3	338	113	265	88	78.4%	61,977	20,659	234
鹿児島	4	1,405	351	748	187	53.2%	208,532	52,133	279
沖縄	4	1,730	433	1,265	316	73.1%	298,019	74,505	236
九州	21	11,628	554	7,262	346	62.5%	1,871,309	89,110	258
全国計	147	109,470	745	68,272	464	62.4%	33,749,108	229,586	494

※ J U岩手、J U岡山の実績は、提携オークションへの協力台数。J U兵庫の実績はJ U岐阜に含まれるため、近畿計及び全国計から除外。

2026年1月の都道府県別中古車登録・届出台数

都道府県		登録自動車				軽自動車	登録自動車 軽自動車 合計
		新規	移転	変更	合計		
北海道	札幌	1,540	3,697	398	5,635	5,093	10,728
	函館	187	486	41	714	909	1,623
	旭川	328	936	209	1,473	1,117	2,590
	室蘭	282	762	103	1,147	663	1,810
	釧路	198	519	77	794	658	1,452
	帯広	262	713	73	1,048	656	1,704
	北見	120	470	73	663	566	1,229
	計	2,917	7,583	974	11,474	9,662	21,136
東北	青森	515	1,498	144	2,157	2,464	4,621
	岩手	857	1,643	185	2,685	2,636	5,321
	宮城	1,768	3,257	318	5,343	4,712	10,055
	秋田	526	1,062	173	1,761	2,018	3,779
	山形	682	1,247	131	2,060	2,397	4,457
	福島	1,343	3,249	324	4,916	3,697	8,613
		計	5,691	11,956	1,275	18,922	17,924
関東	茨城	2,638	6,863	483	9,984	6,516	16,500
	栃木	1,752	4,116	350	6,218	4,177	10,395
	群馬	1,492	4,598	364	6,454	4,300	10,754
	埼玉	3,678	9,832	685	14,195	8,313	22,508
	千葉	3,860	9,458	636	13,954	7,083	21,037
	東京	4,115	10,594	924	15,633	4,259	19,892
	神奈川	4,026	10,160	695	14,881	7,450	22,331
	山梨	514	1,444	109	2,067	2,174	4,241
	計	22,075	57,065	4,246	83,386	44,272	127,658
北陸信越	新潟	1,069	2,868	325	4,262	5,551	9,813
	富山	626	1,255	136	2,017	2,754	4,771
	石川	679	1,366	233	2,278	2,117	4,395
	長野	1,087	3,466	299	4,852	5,360	10,212
		計	3,461	8,955	993	13,409	15,782
中部	福井	385	791	135	1,311	1,810	3,121
	岐阜	1,512	3,306	221	5,039	5,583	10,622
	静岡	2,166	5,466	381	8,013	8,803	16,816
	愛知	5,382	12,758	911	19,051	11,797	30,848
	三重	1,213	3,150	195	4,558	4,170	8,728
		計	10,658	25,471	1,843	37,972	32,163
近畿	滋賀	744	1,780	144	2,668	3,243	5,911
	京都	938	2,378	154	3,470	3,703	7,173
	大阪	3,463	7,535	924	11,922	6,900	18,822
	奈良	672	1,651	104	2,427	2,226	4,653
	和歌山	432	1,156	77	1,665	2,571	4,236
	兵庫	2,620	6,788	445	9,853	7,206	17,059
		計	8,869	21,288	1,848	32,005	25,849
中国	鳥取	283	581	68	932	1,540	2,472
	島根	301	633	116	1,050	1,752	2,802
	岡山	1,082	2,672	246	4,000	4,711	8,711
	広島	1,136	3,197	550	4,883	6,405	11,288
	山口	654	1,787	202	2,643	3,474	6,117
		計	3,456	8,870	1,182	13,508	17,882
四国	徳島	398	911	67	1,376	1,973	3,349
	香川	583	1,360	120	2,063	2,362	4,425
	愛媛	616	1,507	130	2,253	3,426	5,679
	高知	242	619	62	923	1,976	2,899
		計	1,839	4,397	379	6,615	9,737
九州	福岡	2,859	8,225	1,155	12,239	9,452	21,691
	佐賀	456	1,428	160	2,044	2,159	4,203
	長崎	489	1,476	216	2,181	3,189	5,370
	熊本	961	2,788	217	3,966	5,102	9,068
	大分	588	1,641	164	2,393	3,423	5,816
	宮崎	594	1,346	179	2,119	3,513	5,632
	鹿児島	807	1,983	303	3,093	5,146	8,239
	計	6,754	18,887	2,394	28,035	31,984	60,019
沖縄	1,722	3,013	216	4,951	6,943	11,894	
全国	67,442	167,485	15,350	250,277	212,198	462,475	

2月の新車・中古車登録台数

新車登録台数（ナンバーベース）

（単位：台、％）

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計(C)	前年累計(D)	C/D%
普通乗用車	139,306	158,261	88.0	269,624	306,390	88.0
小型乗用車	72,056	75,996	94.8	141,785	144,531	98.1
小計	211,362	234,257	90.2	411,409	450,921	91.2
普通貨物車	11,623	11,604	100.2	22,141	21,476	103.1
小型貨物車	19,854	15,859	125.2	37,425	27,533	135.9
小計	31,477	27,463	114.6	59,566	49,009	121.5
バス	831	1,035	80.3	1,527	1,731	88.2
合計	243,670	262,755	92.7	472,502	501,661	94.2

中古車登録台数

（単位：台、％）

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計(C)	前年累計(D)	C/D%
普通乗用車	159,830	157,177	101.7	298,200	293,284	101.7
小型乗用車	93,099	98,569	94.5	174,691	184,887	94.5
小計	252,929	255,746	98.9	472,891	478,171	98.9
普通貨物車	12,371	14,138	87.5	23,049	25,596	90.0
小型貨物車	16,377	15,471	105.9	30,442	29,271	104.0
小計	28,748	29,609	97.1	53,491	54,867	97.5
バス	659	785	83.9	1,277	1,421	89.9
その他	5,589	5,433	102.9	10,543	10,235	103.0
総合計	287,925	291,573	98.7	538,202	544,694	98.8

（注）「その他」には、特殊車・特種車等の車種を含む。

主要都道府県別 中古車新規・移転・変更登録台数

（単位：台、％）

主な県	普通貨物	前年比	バス	普通乗用	前年比	小型貨物	前年比	小型乗用	前年比	総合計	前年比
北海道	940	99.5	41	7,112	97.4	850	99.8	4,274	92.5	13,652	96.4
岩手	149	108.0	8	1,517	95.4	189	100.5	1,111	89.9	3,031	94.2
宮城	261	89.4	6	3,080	107.2	292	99.3	2,073	94.7	5,819	101.1
福島	255	95.1	10	2,817	99.4	270	95.7	2,009	98.1	5,471	98.9
茨城	612	94.6	23	6,003	98.8	683	112.3	3,896	94.3	11,448	97.8
埼玉	804	84.5	30	9,025	102.3	950	101.1	5,087	91.7	16,227	97.4
千葉	774	91.1	41	8,953	102.0	930	103.0	4,952	93.6	15,988	98.6
東京	462	53.8	41	11,920	101.6	950	105.8	4,936	99.6	18,654	99.2
神奈川	495	68.9	18	9,849	101.2	979	124.4	4,843	93.7	16,474	98.4
新潟	171	100.6	11	2,319	100.1	311	104.0	1,650	87.3	4,541	94.5
静岡	348	103.6	29	5,193	99.8	528	104.8	3,311	93.5	9,549	98.3
愛知	858	75.9	33	12,528	103.2	1,230	101.7	6,681	95.3	21,621	98.9
大阪	566	91.4	42	8,141	99.9	1,027	104.5	4,243	93.9	14,295	97.4
兵庫	432	105.4	18	6,817	98.7	534	111.9	3,313	90.4	11,372	97.6
広島	198	97.5	3	3,081	102.1	241	97.2	1,944	99.4	5,572	100.6
香川	98	101.0	4	1,315	101.2	135	87.7	839	103.3	2,436	101.0
福岡	560	97.9	45	7,740	103.0	744	112.7	4,379	95.6	13,748	101.0
その他	4,388	89.0	256	52,420	103.0	5,534	106.7	33,558	94.8	98,027	99.5
全国計	12,371	87.5	659	159,830	101.7	16,377	105.9	93,099	94.5	287,925	98.7

（注）総合計には、すべての車種を含む。その他は表示以外の県の合計。

月刊「JU中販連」 令和8年4月号 第55巻 第4号 通巻613号

令和8年3月31日発行（毎月1回月末発行）

定価300円 送料80円

発行 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会（JU中販連）

（会員あて1部の購読料は会費に含まず）

編集人 武藤 孝弘

東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル10階（〒151-0053）電話03(5333)5881